

第47回 北本市議会報告会（南部公民館）

日 時	令和8年1月24日（土）午後1時30分～午後3時30分
会 場	南部公民館（北本市二ツ家1丁目127番地）
出席議員	斉藤 章、桜井 卓、今関 公美、青野 康子、小久保 博雅、毛呂 一夫、岡村 有正、湯沢 美恵、保角 美代、島野 和夫、高橋 誠、永井 司、金森 すみ子、村田 裕子、滝瀬 光一、中村 洋子、現王園 孝昭、諏訪 幸男、大嶋 達巳、工藤 日出夫 (議席番号順)
参加者数	20人
次 第	<p>1. 開会 中村広報広聴委員長</p> <p>2. あいさつ 保角議長 皆様こんにちは。本日は第47回目となりました議会報告会を開催しましたところ、このように大勢の皆様寒い中足を運んでいただきまして、本当にありがとうございます。1部、2部構成で、2部の方では意見交換もさせていただきますので、少々長時間ですがお付き合いください。よろしくお願いいたします。</p> <p>3. 各議員による自己紹介</p> <p>4. 議会報告会の進め方 小久保広報広聴副委員長 第1部の質疑応答は定例会の内容に関する質疑に限らせていただきます。 第2部は定例会に限らず皆様と議会との意見交換の場とさせていただきます。</p> <p>5. 【第1部】定例会の報告 (1) 令和7年第4回定例会の報告 ア 先議議案、議案第74号の審議概要 工藤議会運営委員長 イ 委員会付託議案の審議概要 予算決算常任委員会の審議概要 大嶋予算決算常任委員長 総務文教常任委員会の審議概要 毛呂総務文教常任委員長 健康福祉常任委員会の審議概要 高橋健康福祉常任委員長 建設経済常任委員会の審議概要 永井建設経済常任委員長 ウ 議会改革特別委員会中間報告概要 工藤議会改革特別委員長 エ 議員提出議案等の審議概要 工藤議会運営委員長 (2) 質疑応答 質問 2人3件</p> <p>6. 【第2部】意見交換 質問 9人12件</p>

質疑応答及び意見交換

進行 | 広報広聴委員会 小久保副委員長

【第1部】質疑応答

1人目

- Q. 議員報酬等の条例改正について、工藤議員が今口頭で説明したことが大事。提案理由を記載すべきではないかと以前から指摘しています。また、提出者の名前を読み上げる際に「北本市議会議員」という肩書きを毎回付けるのは耳障りです。過去（平成17年）の会議録では省略されている例もあります。議事録の正確性も大事ですが、運用の検討をお願いしたい。
- A. (工藤) 議会は議場で発言したものが議事録として正確に残す必要があるので、議会運営委員会で過去の事例も精査しながら、今後のことを決めさせていただきたい。

2人目

- Q. ①予算決算常任委員会の報告資料について、他の3つの委員会は「こういう質疑があり、こういう答弁があった」と詳しく載っているが、予算決算だけは質疑だけで、答弁の記載がない。市民にとって一番関心のあるお金の話なのに、なぜ答弁が載っていないのか。事務局の作り方の問題なのか、意図的なのか。②建設経済常任委員長の報告で、市道の路線の払い下げ価格が1㎡あたり4万1,875円とのことだが、この根拠は何か？
- (大嶋) ①予算決算常任委員会の報告は、分科会での詳細な質疑応答を経てまとめられたものです。分科会長の報告には、答弁まで記載されています。報告の形式については、より分かりやすく今後検討します。詳細は会議録等で公開されていますが、報告書のあり方も考えていきたいと思います。
- (永井) ②不動産鑑定士による鑑定評価額に基づいています。

【第2部】意見交換

1人目

- Q. ①議会報告会のあり方について。今はインターネットでオープンにして知らせるのが主流。また、「ママのための議会報告会」や「学生のための議会報告会」など、年齢を絞った報告会で若い世代の参加者を増やしている。幅広い方の政治に対する関心を高めていただきたい。地方分権の中で、議員の力が衰えると街が衰退する。また、議員がブロックに分かれて、テーマを決めて市民を呼び、検討会をやっている所も増えている。「市議さんに言ったらこう変わった」という積み重ねで、議会が活性化してくる。②高齢者・障がい者などの個別避難計画についてです。国が1件7千円の交付税措置をしている。北本市でどう使われているのか調べていただきたい。また、悪質な事業者が個別避難計画の策定を食い物にしている事例もあるので、注意していただきたい。③北本市は1都3県184自治体の中で上から3番目に防災に強い街と評価されている。吉見町や川島町の住民は北本市への避難を希望している人も多い。ハブとなって近隣市町村の支援に当たるような取組をお願いしたい。
- A. (小久保) ご意見として承りました。議会報告会のあり方については、今まさに検討をしているところ。この場ですぐに「こうします」とは申し上げられませんが、若い方が関心を持つような形を検討しています。また、障害児の避難等についても、各委員会で検討し、必要があれば市に対して要請していく活動をしたいと思っています。

2人目

Q. 学校給食費無償化を目指す北本の会の若林の代理で発言します。来年度の予算編成の時期なので、皆様をお願いします。今年度の給食費無償化が実現したことは感謝しています。先日、市長、教育長と懇談する機会があったが、来年度の無償化について、明確な返答をいただけませんでした。「前向きに努力したい」とのことでした。北本では1か月4,500円の給食費に、物価高分として675円を付け、実質5,175円を支出しているとのこと。ほぼ国の支給額相当です。今後も物価高騰が続けば、市の持ち出しはあるのでしょうか。国が触れていない中学校の給食費無償化の課題も残っています。現場の栄養士さんともお話を伺いました。教育長も参加しての栄養士さんたちとの会合が定期的にあることを喜んでいました。今年度も学校給食費の無償化が継続するように重ねてお願いしたいと思います。

A. (小久保) 我々も来年度の予算案を受け取っていませんので、どうなっているかは分からない状況ですが、昨年の予算の時もこの問題は議員間でも大きな問題として討議しましたので、今いただいたお言葉を各議員が胸に、予算の審議に当たっていきたいと思います。

3人目

Q. 健康増進センターがこの3月で廃館になると聞いています。老人会などでカラオケを楽しんでいるが、センターの廃止でカラオケ設備がなくなる。他の施設にできるという話はあるのでしょうか。新しくできた栄市民活動交流センターに、そういう設備を設けていただければありがたい。20~30人での会食ができて、カラオケが楽しめる、あるいは100人前後が集まって食事会とカラオケができるような設備を、ぜひ設けてもらいたい。

A. (小久保) ただいまのご意見については承って、我々の方でも検討してまいります。

<担当課に確認いたしましたので、この場をお借りして報告いたします。

健康増進センターで使用していたカラオケ設備につきましては、栄市民活動交流センターへの移設も検討いたしました。同センターは防音設備を備えていないため、他の利用者や近隣住民の皆様にご迷惑をおかけするおそれがあり、移設は見送らせていただきました。

また、市内の他施設での活用についても検討しましたが、カラオケ設備はインターネット回線を通じて楽曲を配信する仕組みのため、年間で35万円程度の使用料が必要となります。限られた運営予算の中でこの費用を確保することが難しく、設置には至りませんでした。

そのため、代替案として、栄市民活動交流センターの高齢者ラウンジに小規模で音量を抑えたカラオケ機器を新たに設置することを検討いたしました。市の厳しい財政状況により新年度予算には盛り込むことができませんでした。

今後も引き続き、予算化の可能性を含めて検討を進めてまいります。ご不便をおかけいたしますが、市の限られた財政状況にご理解を賜りますようお願いいたします。>

4人目

Q. 私がここへ来て43年になるが、当時から「北本のこの南部地区に駅ができる」という話を聞いて移ってきました。その話が現在、議員さんの中で完全に立ち消えちゃったのかどうか、お聞きしたい。

A. (保角) 第五次総合振興計画までは少なくとも「新駅の可能性」という文言が入っていたが、第六次では全く触れていなくて、南部地域全体の発展を見守っていくという形になっている。残念ながら「駅」という文言は残りませんでした。ただ、何人か駅のこと一般質問されている議員もおり、市長答弁も「何かチャンスがあればそういうこともあるのではないか」というような答弁はしています。

5人目

Q. 北本は北里大学メディカルセンターが医療の中心ですが、病床数を減らして赤字だと聞いている。市としては北里病院にどういう援助をしているのか。援助も何もしてないのではないのか。北里が赤字だと撤退するんじゃないかなと思っている。地域の医療の問題を議員はどう考えているのか教えてもらいたい。

A. (保角) 北里大学病院へは、かなり前から、出産1件につき1万円の補助を先生に付けています。毎年300件から400件くらい、北里で出産されているようです。中核の病院ですが、あそこは災害拠点病院にもなりました。北本市としてはしっかり守っていくという姿勢でいると伺っています。

Q. 救急車を呼んだら、第一に桃泉園へ行くようになっていますよね。北里は手術する外科医が2人しかいないと聞いている。北里が受け入れられないということで、上尾中央総合病院とかに回される。その辺を議員一人一人がどう考えてるのか。

A. (高橋) 健康福祉常任委員会では、テーマ活動の2番目の項目で地域医療を取り上げています。市とも連携して、今後北里も含めて視察の予定を組んでいます。しっかり検証させていただいて、今後どういう対応をしていくかといったところも含めて考えてまいります。

6人目

Q. 議会モニター制度の充実について、制度そのものが認知されていない。意見交換会は年1回しか行われておらず、参加者も少ない。これで本当に議会改革につながるのか疑問です。一度立ち止まって、内容あるものを考えてからやった方がいい。事務局職員の体制強化について、委員からは不可欠だという意見も出ているが、議員以上にお金が掛かる。議員年金について、北本市の現役議員にはもらっている人はいないが、北本市としては2,500万円くらい公費で支出している。もう少し分析された方がいいのではないか。定数で一番議論すべきなのは「北本市議会としてどうあるべきか」ということ。議会の充実などを議論して、その上で定数は決まってくる。議論深めていただきたい。定数と報酬について令和5年8月から令和6年9月に代表者会議で8回議論し、結論が出ていない。そこから1年おいて令和7年7月から改めて議論が始まった。なぜ今になって急に出来たのか。

A. (小久保) 議会改革特別委員会で今やっているところなので、ご意見として承ります。

A. (保角) 昨年5月に議長に就任して、議会基本条例を全般に見直すのが私の考えでした。これまで代表者でせっかく議論してきたものが、会議録にも載らない、傍聴もできないという状況でありよろしくないで、市民の皆さんと一緒に考えていくという取組をしながらやっていきたいということで諮問事項に入れたところです。

7人目

Q. 栄市民活動交流センターができたが、しっかりとした防音施設がない。大きな音を出して活動できる施設が欲しい。今度文化センターが全面改修になるということで、ぜひ防音施設のある部屋を作っていただきたい。それと100人規模で飲食できる場所もない。市民が大勢で集う場所が必要。体育館での飲食を許可していただくとか考えていただけるよう要望します。

A. (小久保) 要望として受け止めさせていただきます。

8人目

Q. 定数や報酬のことを公約にした議員は一人もいない。議員が歳費のことを議論するのは利益相反に当たる。今すぐ委員会での議論をやめていただきたい。市民を含めた第三者機関の設置を市長に求めて、結論を出してもらいたい。報酬については特別職の報酬審議会に委ねていた

だきたい。議員は、定数削減を市民から言われると言うが、今日もそういう発言をする人はいない。人口は減少しているが、職員数は増えている。行政に市民から色んな要求があって行政需要があるから職員が増える。議員もその流れの中で削減させる理由はない。

A. (工藤) 市長が第三者機関を設置して検討することは、二元代表制という地方自治体の議会と執行部との関係から言って、望ましいことではありません。議員定数は、まさに議会そのものの問題で、議会が持っている自律権という誰からも侵されることのない権限の中で、議会が決めるものであって、市長に決めてくださいということは、議会としてはやるべきではないと思います。

Q. 私が言っているのは、第三者の委員会を設置して、議会が市民を選んで第三者委員会を作るわけにいかないから、市長が第三者委員会の選定を決めて、その中に市民を入れてくださいという意味です。

A. (工藤) 議会基本条例では、市長に頼まなくても議会が審議会を設置することは可能ですが、議長が議会運営委員会に諮問し、議会改革特別委員会を設置して検討しようということを議会が決めました。定数の問題も含めて検討して、最終的に結論を出して答申したい。

9人目

Q. 意見交換会ということで今日も市民から要望が出されたが、単なるガス抜きに過ぎない。これをしっかりと実現していただきたいが、当事者としてはどうしたらよいのか。

A. (中村) 各委員会がありますので、そちらの方で話し合っって執行部の方に申し入れをするという方向でやっていきたいと思います。要望された市民団体、市民の人たちと向き合っって、しっかり結論を出した上で、議会で決議をするとか、そういう形で実現の方向に向かっていこうと今申し合わせしようと思っています。

10人目

Q. 投票率がすごく低下してビックリしている。若者、現役世代の方々の市政に対する関心が非常に低いと改めて思いました。どうしたら関心を持ってもらえるような工夫ができるか。若い方が近い将来に出て来られるような環境も考えていただければと思っています。

A. (小久保) ありがとうございます。もっとフランクな形で議員と皆さんとが意見交換できるような形に変えていこうと検討しておりますので、また形が変わったとしても、ご出席いただいご意見いただければありがたいなと思います。

アンケート結果（回答者10人）

問1 お住いの地域：二ツ家1人、中丸1人、石戸宿1人、東間1人、宮内1人、下石戸2人、西2 1人、無回答2人

問2 年代：40歳代1人、60歳代3人、70歳代3人、80歳代2人、無回答1人

問3 報告会の開催を何から知ったか（複数回答可）

議会日より4人、議員1人、ポスター2人、その他3人（新婦人、友人）、無回答1人

問4 どこで開催した方が良いと思うか（複数回答可）

議場1人、公民館4人、北本市役所会議室3－E F 3人、その他1人（市役所の市民ホール）、無回答2人

問5 意見・要望

- ・給食費の無償化、お願いいたします。
- ・始めて参加しました。色々な意見が聞けて良かったです。
- ・本日初めて参加させていただきました。大変勉強になりました。市議の方も、市民の方も、とても積極的に意見交換してくださっていました。これから北本市が良い方向になっていただければと思います。
- ・市議会本会議の中で、一般質問をするのが議員の最大の義務と権利であると思います。それを毎回されない議員が一名います。議員報酬の減額又は不支給に値すると思います。
- ・北本市の発展を考えたら、企業誘致それから長年の事案である新駅の誘致が最大の事案と考えますが、議員さんの中でもぜひ行動してほしい。（前向きに）
- ・なかなか足がないので文化センター内で開いていただければ幸いです。いろいろ意見をうかがい、なるほどと思いました。議員さんも考えてほしいですね。